令和５年度　【自己評価結果公表シート】　　幼保連携型認定こども園　牧谷保育園

1.園の理念

＜教育・保育理念＞

子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され地域に愛される保育園を目指します。

＜教育・保育方針＞

恵まれた広い園庭、周りを山と川に囲まれた豊かな自然環境の中で“子ども本来の仕事”である「あそび」を通して『心身ともに明るくたくましい子』を育てる教育及び保育を実践します。

＜教育・保育目標＞

・明るく元気な子　健康・安全など基本的な生活習慣を養う。

・粘り強く取り組める子　さまざまな体験を通し、豊かな感性と創造性を培う

・思いやりのある子　人との関わりの中で自主性、協調性を養う

評価項目		６月（13 名）	10月（13 名）	２月（13 名）	改善策
1.教育・保育の計画					園内研修などを行い、保育理念を理解し保育の質の向上を高める。
・園の保育理念、基本方針を正しく説明できる		9	10	11	
・見通しを持った保育をしている（保育実施計画に記入）		12	12	12	
・子どもの発達、興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊んでいる		12	13	13	
・子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育ができている		13	13	13	
2.保育内容					見通しを持った余裕のある保育を心がけ子どもとの関わり方（言葉がけなど）を常に見直していく。職員間で子どもたちの情報を共有し、一人ひとりに丁寧に対応していく。
・生活のリズムを整え、基本的な生活習慣が身につくように配慮しながら保育をしている		13	13	13	
・子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が出来ている		11	12	12	
子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている	・子どもの思いを大切にしながら対応している	13	13	13	
	・子どもが理解しやすい温かな言葉使いでその子に聞こえる程度の声の大きさで話している	11	11	13	
	・自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみ取るよう努力している	13	13	13	
	・「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」等制止や禁止の言葉を不必要に用いないようにしている	12	12	13	
	・「できない」「やって」等と言ってくる子どもに対して、子どもの状況に応じて温かく対応している	13	13	13	
	・保育士として子どもが安心して話したくなるような雰囲気を持っている	12	12	13	
	・子どものサインを見逃さず対応している	11	12	13	
遊びや生活を通して人間関係が育つように配慮している	・子ども同士の関係をよくするような言葉がけをしている	13	13	13	
	・ケンカの場面では状況を適切にとらえ、双方の思いを聴き丁寧に対応している	11	11	13	
	・年齢に応じた社会的ルールを身につけていくように配慮している	12	12	13	

・子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場面がある	12	12	13	
・保育士自身が一緒に身体を動かしながら、楽しんで保育している	13	13	13	
・突発的な状況に対して適切な対応ができている	10	10	12	
3.保健管理				感染症などに対する情報提供を行えるようにしていく。
・身長、体重などを定期的に計測し、子どもの発育状況を把握している	13	13	13	
4.安全管理				園内研修などを通して職員一人ひとりが危機管理を持ち、日々の保育をする。また、安全指導や避難訓練などを通して子どもたちに命の大切さを伝えていく。
・子どもが危険な遊びがわかり、安全に気を付けて行動するように指導している	12	12	13	
・子どもの命を守るため、玩具や遊具の安全管理と子どもの行動から目を離さないよう責任を持った保育をしている	12	12	13	
・災害や不審者に対する対応や、園児に対する避難訓練を行っている	13	13	13	
・遊びに入れない子どもや、全体の安全に気を配っている	13	13	13	
5.食育				食事が楽しくなる環境を心がける。
・子どもが落ち着いて食事を楽しみ、感謝の心が育つように指導している	12	12	12	
6.組織運営				繰り返し確認しながら組織の一員としての意識を高めていく。
・保育士間の信頼関係ができている	12	13	13	
・保育についての話し合いがなされ、意思統一ができている	12	12	13	
・それぞれの役割を把握し、適切な動きができている	10	10	12	
7.研修				年間予定を立て園内研修や園外での研修などにも充実させていく。
・自己評価等で課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽している	10	12	12	
・研修に参加したり、専門書を読むなどして知識や技能の向上に努めている	11	12	13	
・保育士としての人間性や倫理観を高めるために自己研鑽に努めている	11	12	13	
・職務上知り得た子どもに関する情報について、家族や友人にも話さないようにしている	13	13	13	
8.環境整備				園内の点検や清掃をしっかり行う。また、子どもたちの環境整備にしっかり心がける。
・室内の衛生、清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	13	13	13	
・室内の温度や湿度、換気をチェックしている	13	13	13	
・子どもが快適に過ごすための環境が整っている	13	13	13	
・廊下に落ちている物を拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	13	13	13	
9.子育て支援				保護者との相互理解を図るため個別の対応ができるよう努力する。
・保護者の思いを理解するように努め、丁寧に連携を進めている	12	12	13	
・保護者と子どもに笑顔であいさつをし、気持ちの良い受け入れをしている	13	13	13	
・来客や地域の方（ふれあい交流等）に積極的に声掛けをしている	12	12	13	